

(現行)

(改訂案)

柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年(2020年)2月

柏崎市

柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年(2020年)2月

(令和4年(2022年)●月改訂)

柏崎市

第1章 計画の概要

第1節 地方創生の取組と現状

全国的な人口減少・少子高齢化は依然として深刻な状況であり、それに伴い地方における生産年齢人口は著しく減少しています。一方で、国内の就業者数は増加しており全体的な人口減少を女性や高齢者の社会進出が補っている状態となっています。また、東京圏への転出超過は依然として一極集中の傾向が続いており、全人口の約3割が東京圏に集中しています。

本市においても、まちの将来を担う若い世代、特に女性の市外への流出が顕著でありそのことが人口の社会減にもつながっています。

本市の活力や都市機能等を維持し続けるために、平成27年度（2015年度）に策定した「柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）によりこれまで行ってきた取組を振り返るとともに、働く場の確保や魅力あるまちづくり、暮らしやすい環境づくりと地域を担う人づくりに引き続き取り組むことが必要です。

第2節 策定方針

地方創生の実現は、地方と国が一体となって切れ目なく継続して取り組む必要があります。このため、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び新潟県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、本市の実情に即した地域性のある計画とします。

また、柏崎市第五次総合計画の基本構想を踏まえた計画とし、「力強く 心地よいまち」の実現を目指します。

第3節 計画の構成

1 人口ビジョン

本市の将来における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と令和42年（2060年）の人口展望を示すこととします。

2 総合戦略

- 本市における人口の現状と、将来の展望を見通す人口ビジョンを踏まえて、今後5か年で重点的に取り組む目標や重点プロジェクト、施策の基本的方向を定め、具体的な事業を着実に進めます。
- 計画期間 令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）の5年間

第1章 計画の概要

第1節 地方創生の取組と現状

全国的な人口減少・少子高齢化は依然として深刻な状況であり、それに伴い地方における生産年齢人口は著しく減少しています。一方で、国内の就業者数は増加しており全体的な人口減少を女性や高齢者の社会進出が補っている状態となっています。また、東京圏への転出超過は依然として一極集中の傾向が続いており、全人口の約3割が東京圏に集中しています。

本市においても、まちの将来を担う若い世代、特に女性の市外への流出が顕著でありそのことが人口の社会減にもつながっています。

本市の活力や都市機能等を維持し続けるために、平成27年度（2015年度）に策定した「柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）によりこれまで行ってきた取組を振り返るとともに、働く場の確保や魅力あるまちづくり、暮らしやすい環境づくりと地域を担う人づくりに引き続き取り組むことが必要です。

第2節 策定方針

地方創生の実現は、地方と国が一体となって切れ目なく継続して取り組む必要があります。このため、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び新潟県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、本市の実情に即した地域性のある計画とします。

また、柏崎市第五次総合計画の基本構想を踏まえた計画とし、「力強く 心地よいまち」の実現を目指します。

第3節 計画の構成

1 人口ビジョン

本市の将来における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と令和42年（2060年）の人口展望を示すこととします。

2 総合戦略

- 本市における人口の現状と、将来の展望を見通す人口ビジョンを踏まえて、今後6か年で重点的に取り組む目標や重点プロジェクト、施策の基本的方向を定め、具体的な事業を着実に進めます。
- 計画期間 令和2年度（2020年度）～令和7年度（2025年度）の6年間

第3章 重点プロジェクト

1 転入増加・転出抑制プロジェクト

若者を中心とした転出超過を抑制することにより、人口減少を緩和するプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
転出と転入の差 (転出数-転入数)	345人	245人	人口の社会減の抑制

重点を置く主要施策

I-2-(1) 若者と女性の雇用促進
III-1-(1) U・I ターン施策の推進

現在の転出超過を少しでも抑制するためには、若者や女性が地元で就労できる環境づくりが重要であり、新規学卒者が市内企業に関心を持てる情報発信や就労支援を強化するとともに、女性が就労しやすい環境づくりに取り組みます。

また、一旦転出した若者のUターンや本市に関心を持つ者のIターンに結び付けるため、相談窓口の設置を始めとする柏崎に関する情報の一体的な発信と定住促進の取組を推進します。

さらに、地域おこし協力隊など、都市部の人材を受け入れる地域の取組を支援します。

2 子育て支援プロジェクト

経済的な不安や、地域の中でよりどころがないなどの不安を軽減し、働きながら安心して子育てができる環境を整えるプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H29年度)	目標(R5年度)	見込まれる成果
合計特殊出生率	1.54	1.63	人口の自然減の抑制

重点を置く主要施策

II-1-(1) 妊娠・出産・子育ての支援
II-1-(2) 出産や子育ての経済的負担の軽減
II-2-(1) ワーク・ライフ・バランスの促進

第3章 重点プロジェクト

1 転入増加・転出抑制プロジェクト

若者を中心とした転出超過を抑制することにより、人口減少を緩和するプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
転出と転入の差 (転出数-転入数)	345人	225人	人口の社会減の抑制

重点を置く主要施策

I-2-(1) 若者と女性の雇用促進
III-1-(1) U・I ターン施策の推進

現在の転出超過を少しでも抑制するためには、若者や女性が地元で就労できる環境づくりが重要であり、新規学卒者が市内企業に関心を持てる情報発信や就労支援を強化するとともに、女性が就労しやすい環境づくりに取り組みます。

また、一旦転出した若者のUターンや本市に関心を持つ者のIターンに結び付けるため、相談窓口の設置を始めとする柏崎に関する情報の一体的な発信と定住促進の取組を推進します。

さらに、地域おこし協力隊など、都市部の人材を受け入れる地域の取組を支援します。

2 子育て支援プロジェクト

経済的な不安や、地域の中でよりどころがないなどの不安を軽減し、働きながら安心して子育てができる環境を整えるプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
合計特殊出生率	1.54 (H29年度)	1.51以上 (R6年度)	人口の自然減の抑制
出生数	522人	430人	人口の自然減の抑制

重点を置く主要施策

II-1-(1) 妊娠・出産・子育ての支援
II-1-(2) 出産や子育ての経済的負担の軽減
II-2-(1) ワーク・ライフ・バランスの促進

核家族化の進行や地域とのつながりが希薄になっていることから、子育ての不安感や負担感の軽減を図り、子どもを安心して産み育てられるよう、地域全体で子育てを支援することが重要です。

このため、子育てに関する情報提供、相談、交流の場などの充実に努めるとともに令和元年（2019年）10月にスタートした幼児教育・保育の無償化に対応しながら経済的負担の軽減を図ります。

また、働きながら安心して子どもを産み育てることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進し、事業所への働きかけも強化します。

3 産業活性化プロジェクト

若い世代から高齢者まで、この地域で働きたいと思える環境を充実させ、まちを活性化させるプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
一人当たりの市民所得	2,818千円 (H28年度)	3,000千円 (R4年度)	生活水準の向上 将来不安の解消
製造品出荷額における付加価値額	705億円	750億円	企業の稼ぐ力の増大 雇用創出
観光入込客	360万人	400万人	観光産業の雇用創出 交流人口の拡大

重点を置く主要施策

- I-1-(1) 地域産業の稼ぐ力の拡大
- I-1-(2) 新たな産業の創出

若者や女性が就職を理由に転出する傾向が強いことから、地域産業の活性化によりまちの活力を高め、地域に雇用を生み出す必要があります。そのために、本市の基幹産業であるものづくり産業を始め様々な産業分野において、生産性向上と競争力強化を促進するための施策を展開します。

また、稼ぐ力の拡大を図るため、既存の産業の振興だけではなく、新たなサービスや地域ブランドなどによる付加価値の創造や、柏崎市地域エネルギービジョンに基づく地域エネルギー会社の設立及び次世代エネルギー等の産業化、廃炉産業の創出に向けた調査・研究など、本市の特性をいかした取組を推進します。

観光産業は、裾野が広い産業と言われ、他産業への波及効果もあることから、柏崎市観光ビジョンを策定し、より戦略的な取組を見出し、交流人口の拡大と観光産業の振興に取り組みます。

核家族化の進行や地域とのつながりが希薄になっていることから、子育ての不安感や負担感の軽減を図り、子どもを安心して産み育てられるよう、地域全体で子育てを支援することが重要です。

このため、子育てに関する情報提供、相談、交流の場などの充実に努めるとともに令和元年（2019年）10月にスタートした幼児教育・保育の無償化に対応しながら経済的負担の軽減を図ります。

また、働きながら安心して子どもを産み育てることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進し、事業所への働きかけも強化します。

3 産業活性化プロジェクト

若い世代から高齢者まで、この地域で働きたいと思える環境を充実させ、まちを活性化させるプロジェクト

■最重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
一人当たりの市民所得	2,818千円 (H28年度)	3,000千円 (R5年度)	生活水準の向上 将来不安の解消
製造品出荷額における付加価値額	666億円 (H28年度)	750億円 (R5年度)	企業の稼ぐ力の増大 雇用創出

重点を置く主要施策

- I-1-(1) 地域産業の稼ぐ力の拡大
- I-1-(2) 新たな産業の創出

若者や女性が就職を理由に転出する傾向が強いことから、地域産業の活性化によりまちの活力を高め、地域に雇用を生み出す必要があります。そのために、本市の基幹産業であるものづくり産業を始め様々な産業分野において、生産性向上と競争力強化を促進するための施策を展開します。

また、稼ぐ力の拡大を図るため、既存の産業の振興だけではなく、新たなサービスや地域ブランドなどによる付加価値の創造や、柏崎市地域エネルギービジョンに基づく地域エネルギー会社の設立及び次世代エネルギー等の産業化、廃炉産業の創出に向けた調査・研究など、本市の特性をいかした取組を推進します。

観光産業は、裾野が広い産業と言われ、他産業への波及効果もあることから、柏崎市観光ビジョンを策定し、より戦略的な取組を見出し、交流人口の拡大と観光産業の振興に取り組みます。

第4章 基本目標別の総合戦略

第1節 地域産業の振興を図り雇用の場をつくる

若者と女性が将来に夢を持ち、安心して暮らし続けることができるよう、雇用の場の確保を図るとともに、地域産業の活性化や新しい産業の創出、起業及び事業承継の支援に積極的に取り組みます。

I-1 地域産業を活性化する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
特許保有件数	153件	200件	企業の稼ぐ力の増大
柏崎市認証米「米山プリンセス」の認定数量	2.2トン (R1年度)	10トン	地域ブランドによる産業の活性化
地域エネルギー会社の設立	—	設立 (R4年度)	新たな産業による活性化

<主要施策>

I-1-(1) 地域産業の稼ぐ力の拡大

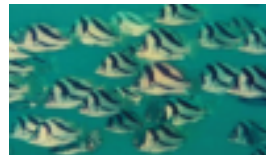
ものづくり産業や情報産業の生産性向上と競争力強化を促進するため、IoTやAIの導入促進や知的財産権の取得に対して支援することにより、稼ぐ力の拡大を図ります。

また、米山プリンセスの生産やヒゲソリダイの養殖に向けた取組など、ブランド力向上による稼げる農林水産業の取組を強化します。

さらに、市民や観光関係事業者との協力により柏崎市観光ビジョンを策定し、その推進により交流人口の拡大を図り、観光産業の振興にも積極的に取り組みます。

<主な事業>

- ・工業振興事業
- ・情報産業育成振興事業
- ・IoT推進事業
- ・産業イノベーション促進支援事業
- ・地域営農支援事業
- ・食の地産地消推進事業
- ・柏崎産米ブランド化推進事業
- ・ヒゲソリダイ養殖支援事業
- ・漁業就業者支援事業
- ・広域観光推進事業
- ・かしわざき魅力再発見・誘客推進事業
- ・道の駅誘客宣伝事業
- ・インバウンド推進事業
- ・海の柏崎活性化事業



ヒゲソリダイ

第4章 基本目標別の総合戦略

第1節 地域産業の振興を図り雇用の場をつくる

若者と女性が将来に夢を持ち、安心して暮らし続けることができるよう、雇用の場の確保を図るとともに、地域産業の活性化や新しい産業の創出、起業及び事業承継の支援に積極的に取り組みます。

I-1 地域産業を活性化する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
製造品出荷額等	1,933億円 (H28年度)	2,200億円 (R5年度)	企業の稼ぐ力の増大
情報関連産業における雇用者数(累計)	—	265人	情報産業の活性化
延べ宿泊者数	256,304人	257,000人	観光産業の活性化 観光事業者の稼ぐ力の向上
園芸作物の作付面積	27.9ha	66.4ha	農業者の経済的安定
地域エネルギー会社の設立	—	設立 (R4年度)	新たな産業による活性化

<主要施策>

I-1-(1) 地域産業の稼ぐ力の拡大

ものづくり産業や情報産業の生産性向上と競争力強化を促進するため、IoTやAIの導入促進や知的財産権の取得に対して支援することにより、稼ぐ力の拡大を図ります。

また、米山プリンセスの生産やヒゲソリダイの養殖に向けた取組など、ブランド力向上による稼げる農林水産業の取組を強化します。

さらに、市民や観光関係事業者との協力により柏崎市観光ビジョンを策定し、その推進により交流人口の拡大を図り、観光産業の振興にも積極的に取り組みます。

<主な事業>

- 工業振興事業
- 情報産業育成振興事業
- IoT推進事業
- 園芸振興支援事業
- 六次産業化支援事業
- 食の地産地消推進事業
- 柏崎産米ブランド化推進事業
- ヒゲソリダイ養殖支援事業

- 漁業就業者支援事業
- 誘客促進事業
- 柏崎海洋センター管理運営事業
- じょんのび村管理運営事業
- 道の駅「風の丘米山」整備事業
- インバウンド推進事業
- 海の柏崎活性化事業

I-1-(2) 新たな産業の創出

柏崎フロンティアパークなどへの企業誘致を積極的に取り組みます。

また、柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、地域エネルギー会社の設立など柏崎市次世代エネルギー研究プロジェクトの実現に向けて、取組を強化します。

さらに、廃炉産業の創出に向けた調査・研究を進めます。

<主な事業>

- ・企業立地事業
- ・次世代エネルギー活用推進事業
- ・次世代エネルギー活用研究事業
- ・廃炉産業調査研究事業



柏崎市地域エネルギービジョン

I-2 雇用対策を強化する

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
女性の生産年齢人口(15歳から64歳まで)における就業率	66.7% (H27国勢調査)	73.0% (R7国勢調査)	希望をかなえる就業による地元定着
柏崎市創業支援等事業計画に基づく創業者数(累計)	66人	156人	創業・起業による所得の向上

<主要施策>

I-2-(1) 若者と女性の雇用促進

若者と女性の雇用促進に向けた就労支援の充実を図るとともに、人材確保を目指す事業者や女性の活躍を促進する事業者の取組を支援することにより、若者と女性の地元定着を図ります。

<主な事業>

- ・若年者就労支援事業
- ・雇用促進事業
- ・女性活躍推進事業
- ・青年就農支援事業
- ・看護師就職支援事業
- ・介護従事者人材確保・育成支援事業
- ・介護・福祉職員就職支援事業
- ・林業従事者雇用促進支援事業
- ・漁業就業者支援事業

I-2-(2) 創業・起業の推進

柏崎市創業支援等事業計画に基づき、柏崎・社長のたまご塾の取組や創業・起業及び事業承継に対する支援など、関係機関との協働により、多様な創業者や起業者の輩出及び企業の第二創業や新分野への進出などを促進し、「創業しやすいまち柏崎」の実現を目指します。

<主な事業>

- ・創業支援事業
- ・事業承継支援事業
- ・産業イノベーション促進支援事業

I-1-(2) 新たな産業の創出

柏崎フロンティアパークなどへの企業誘致を積極的に取り組みます。

また、柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、地域エネルギー会社の設立など柏崎市次世代エネルギー研究プロジェクトの実現に向けて、取組を強化します。

さらに、廃炉産業の創出に向けた調査・研究を進めます。

<主な事業>

- 企業立地事業
- 次世代エネルギー活用推進事業
- 地域エネルギー会社連携事業
- 廃炉産業調査研究事業



柏崎市地域エネルギービジョン

I-2 雇用対策を強化する

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
女性の生産年齢人口における就業率	66.7% (H27国勢調査)	73.0% (R7国勢調査)	希望をかなえる職業による地元定着
柏崎市創業支援等事業計画に基づく創業者数(累計)	66人	171人	創業・起業による所得の向上

<主要施策>

I-2-(1) 若者と女性の雇用促進

若者と女性の雇用促進に向けた就労支援の充実を図るとともに、人材確保を目指す事業者や女性の活躍を促進する事業者の取組を支援することにより、若者と女性の地元定着を図ります。

<主な事業>

- 若年者就労支援事業
- 雇用促進事業
- 女性活躍推進事業
- 青年就農支援事業
- 林業従事者雇用促進支援事業
- 漁業就業者支援事業
- 看護師就職支援事業
- 介護職員就職支援事業

I-2-(2) 創業・起業の推進

柏崎市創業支援等事業計画に基づき、柏崎・社長のたまご塾の取組や創業・起業及び事業承継に対する支援など、関係機関との協働により、多様な創業者や起業者の輩出及び企業の第二創業や新分野への進出などの促進し、雇用の場の増加を目指します。

<主な事業>

- 創業支援事業
- 事業承継支援事業
- 情報産業育成振興事業

第2節 子どもを産み育てやすいまちをつくる

出産・子育てを望む人が安心して子どもを産み、働きながら子育てができる環境づくりや、地域や企業を含む市全体で子育て世帯を支える仕組みづくりを進めます。

Ⅱ-1 地域全体で子育てを支援する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
地域における子育て支援拠点施設の利用者数	10,800組	10,800組 (現状維持)	未就園児保護者の交流 子育ての不安の軽減
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	92.3%	95.0%	子育ての不安の軽減
公立保育園における年度途中の入園希望児童数に対する実入園児童数の割合	56.1%	100.0%	仕事と子育ての両立 安心して子育てができる環境整備

<主要施策>

Ⅱ-1-(1) 妊娠・出産・子育ての支援

安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠、出産、子育ての場面において、切れ目のない支援を充実するなど、多様な子育てサービスを提供します。

また、保育士の確保等による保育園の受入体制の更なる充実及び地域における子育ての相談体制や情報提供、関係機関との連携により、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを進めます。

<主な事業>

- ・公民館講座運営事業（エイジレスコース）
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・延長・休日保育事業
- ・一時預かり事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・産後ヘルパー事業（養育支援事業）
- ・~~空き家対策事業~~
- ・~~（住まい快適リフォーム補助事業）~~



放課後児童健全育成事業

Ⅱ-1-(2) 出産や子育ての経済的負担の軽減

妊産婦の医療費助成及び子どもの通院費助成の対象年齢拡充など、出産や育児に対する経済的負担の軽減と、乳幼児や子どもの健全育成を支援します。

<主な事業>

- ・妊産婦及び子どもの医療費助成事業
- ・不妊治療助成事業
- ・子育て応援券事業

第2節 子どもを産み育てやすいまちをつくる

出産・子育てを望む人が安心して子どもを産み、働きながら子育てができる環境づくりや、地域や企業を含む市全体で子育て世帯を支える仕組みづくりを進めます。

Ⅱ-1 地域全体で子育てを支援する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
地域における子育て支援拠点施設の利用者数	10,800組	10,800組 (現状維持)	未就園児保護者の交流 子育ての不安の軽減
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	92.3%	95.3%	子育ての不安の軽減
年度途中の入園希望に対する実入園の割合 (公立保育園)	56.1%	100.0%	仕事と子育ての両立 安心して子育てができる環境整備

<主要施策>

Ⅱ-1-(1) 妊娠・出産・子育ての支援

安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠、出産、子育ての場面において、切れ目のない支援を充実するなど、多様な子育てサービスを提供します。

また、保育士の確保等による保育園の受入体制の更なる充実及び地域における子育ての相談体制や情報提供、関係機関との連携により、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを進めます。

<主な事業>

- ・公民館講座運営事業（エイジレスコース）
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・延長・休日保育事業
- ・一時預かり事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・産後ヘルパー事業（養育支援事業）
- ・**住まい快適リフォーム事業**



放課後児童健全育成事業

Ⅱ-1-(2) 出産や子育ての経済的負担の軽減

妊産婦の医療費助成及び子どもの通院費助成の対象年齢拡充など、出産や育児に対する経済的負担の軽減と、乳幼児や子どもの健全育成を支援します。

<主な事業>

- ・妊産婦及び子どもの医療費助成事業
- ・不妊治療助成事業
- ・子育て応援券事業

Ⅱ-2 若者のくらしを支援する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
仕事と家庭の両立支援奨励金の交付件数(累計)	— (R2年度事業開始)	50件	仕事と子育ての両立
ハッピー・パートナー企業の登録件数	44社	70社	ワーク・ライフ・バランスの推進
公民館講座エイジレスコース参加者のうち10～40代の割合	40.0%	43.0%	若者や子育て世代の出会いと交流の場の創出

<主要施策>

Ⅱ-2-(1) ワーク・ライフ・バランスの促進

家庭生活と仕事の両立ができるよう、多様な勤務形態の導入、育児・介護休業の取得促進など、男女共に多様な働き方の選択を可能とするワーク・ライフ・バランスの取組を促進します。あわせて、事業所がワーク・ライフ・バランスを推進できるよう、その働きかけを強化します。

<主な事業>

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業
- ・病児保育事業
- ・延長・休日保育事業
- ・職場環境づくり推進事業
- ・女性活躍推進事業
- ・勤務医・看護師子育てサポート事業



女性活躍推進事業

Ⅱ-2-(2) 若者の交流・結婚活動に対する支援

結婚を望む独身男女の希望をかなえ、結婚につながる出会いのきっかけづくりを進めるため、結婚に関する情報提供や各種セミナーの実施、イベントを通じた出会いの場の提供に取り組みます。

また、核家族化が進む状況において、子育て世代が交流できる場の充実を図ります。

<主な事業>

- ・結婚活動応援事業
- ・公民館講座運営事業（エイジレスコース）
- ・地域子育て支援拠点事業



公民館講座運営事業（エイジレスコース）



Ⅱ-2 若者のくらしを支援する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
仕事と家庭の両立支援奨励金の交付件数(累計)	— (R2年度事業開始)	60件	仕事と子育ての両立
ハッピー・パートナー企業の登録件数	44社	80社	ワーク・ライフ・バランスの推進

<主要施策>

Ⅱ-2-(1) ワーク・ライフ・バランスの促進

家庭生活と仕事の両立ができるよう、多様な勤務形態の導入、育児・介護休業の取得促進など、男女共に多様な働き方の選択を可能とするワーク・ライフ・バランスの取組を促進します。あわせて、事業所がワーク・ライフ・バランスを推進できるよう、その働きかけを強化します。

<主な事業>

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業
- ・病児保育事業
- ・延長・休日保育事業
- ・職場環境づくり推進事業
- ・女性活躍推進事業
- ・勤務医・看護師子育てサポート事業



女性活躍推進事業

Ⅱ-2-(2) 若者の交流・結婚活動に対する支援

核家族化が進む状況において、子育て世代が交流できる場の充実を図ります。

また、結婚を望む独身男女の希望をかなえ、結婚につながる出会いのきっかけづくりを進めるため、結婚に関する情報提供や各種セミナーの実施、イベントを通じた出会いの場の提供に取り組みます。

<主な事業>

- ・結婚活動応援事業
- ・地域子育て支援拠点事業



結婚活動応援事業

地域子育て支援拠点事業

第3節 定住を促す魅力あるまちをつくる

若者の転出抑制と人口の定着につなげるために、転出者の回帰や都市部の移住志向を持つ人を引き付け、定住人口減少の抑制と関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、豊かな自然環境と様々な地域資源の持つ魅力を、市内外へ効果的に発信し、市民の柏崎への誇りや愛着の醸成を図ります。

Ⅲ-1 若者の定住を促進する

■重要業績評価指標（KPI）

項目		現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
新規学校卒業者の市内就職率	市内高等学校	49.0%	65.0%	若者の地元定着 地域の活力の増大 企業の人手不足の解消
	市内大学	16.4%	20.0%	
移住セミナー、相談会の相談件数(年度延べ件数)		32件	80件	移住による人口増加

<主要施策>

Ⅲ-1-1) U・Iターン施策の推進

都内における相談窓口の開設などによりU・Iターンを促進するとともに、U・Iターンした若者の暮らしを支援するなど、柏崎市移住・定住推進行動計画を着実に推進します。

また、地域おこし協力隊や地域におけるインターン事業など、都市部の人材を受け入れる地域の取組を支援します。

<主な事業>

- ・U・Iターン促進事業
- ・地域おこし協力隊活用事業
- ・地域おこし協力隊活動経費
- ・空き家対策事業（住まい快適リフォーム補助事業）
- ・新規就農者支援事業

Ⅲ-1-2) 新卒者の定着に対する支援

新卒者の地元大学への進学や地元企業への就職支援を推進します。加えて、産学官が一体となり、インターンシップや実務型の職場研修事業など、本市の産業や企業を理解してもらう取組により、若者の地元定着につなげます。

<主な事業>

- ・U・Iターン促進事業
- ・人材育成支援事業
- ・雇用促進事業
- ・大学との連携・協働事業



雇用促進事業（高校生企業説明会）

第3節 定住を促す魅力あるまちをつくる

若者の転出抑制と人口の定着につなげるため、転出者の回帰や都市部の移住志向を持つ人を引き付け、定住人口減少の抑制と関係人口の創出・拡大に取り組みます。また、**まちの魅力を高め、市内外へ効果的に発信することで地域の活性化を図ります。**

Ⅲ-1 若者の定住を促進する

■重要業績評価指標（KPI）

項目		現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
新規学校卒業者の市内就職率	市内高等学校	49.0%	58.0%	若者の地元定着 地域の活力の増大 企業の人手不足の解消
	市内大学	16.4%	17.0%	
移住セミナー、相談会の相談実人数		24人	55人	移住による人口増加

<主要施策>

Ⅲ-1-1) U・Iターン施策の推進

都内における相談窓口の開設などによりU・Iターンを促進するとともに、U・Iターンした若者の暮らしを支援するなど、柏崎市移住・定住推進行動計画を着実に推進します。

また、地域おこし協力隊や地域におけるインターン事業など、都市部の人材を受け入れる地域の取組を支援します。

<主な事業>

- ・U・Iターン促進事業
- ・地域おこし協力隊活用事業
- ・地域おこし協力隊活動経費
- ・空き家対策事業
- ・**住まい快適リフォーム事業**
- ・新規就農者支援事業



U・Iターン情報ステーション

Ⅲ-1-2) 新卒者の定着に対する支援

新卒者の地元大学への進学や地元企業への就職支援を推進します。加えて、産学官が一体となり、インターンシップや実務型の職場研修など、本市の産業や企業を理解してもらう取組により、若者の地元定着につなげます。

<主な事業>

- ・U・Iターン促進事業
- ・人材育成支援事業
- ・雇用促進事業
- ・大学との連携・協働事業
- ・**工業振興事業**



雇用促進事業（高校生企業説明会）

Ⅲ-2 柏崎らしさを創出する

■重要業績評価指標（KPI）

項目		現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
柏崎ファンクラブの会員数 (累計)		7,695人 (R1年度10月末)	12,000人	関係人口の増加
柏崎ふるさと応援基金への 寄附件数		8,504件	20,000件	関係人口の増加
ブルボンウオーター ポロクラブ柏崎 のサポーター及び 協賛店の数	サポーター	241人	600人	関係人口の増加 スポーツによる活性化
	協賛店	54店	100店	

<主要施策>

Ⅲ-2-(1) シティセールスの推進

柏崎ファンクラブやふるさと納税など、まちの魅力の発信や柏崎を応援する取組を強化し、シティセールスを推進します。

また、水球や海の大花火大会など、本市の認知度向上と魅力の形成につながる取組を強化します。

<主な事業>

- ・ 柏崎シティセールス推進事業
- ・ ふるさと応援事業
- ・ 水球のまち柏崎推進事業
- ・ 柏崎産米ブランド化推進事業
- ・ 道の駅誘客宣伝事業
- ・ 海の柏崎活性化事業



日本水球選手権

Ⅲ-2-(2) 地域コミュニティの維持・活性化

住みよい地域社会の実現や中山間地域における集落を維持するため、地域コミュニティなどにおける様々な課題に対して、若い世代を始めとするあらゆる世代の地域住民が連携し、自発的に取り組むことができるよう支援します。

また、地域おこし協力隊などの外部人材を活用した地域の主体的な取組を支援するとともに、世代間交流の推進を図ります。

<主な事業>

- ・ 地域コミュニティ活動推進事業
- ・ 地域おこし協力隊活用事業
- ・ 地域おこし協力隊活動経費

Ⅲ-2 柏崎らしさを創出する

■重要業績評価指標（KPI）

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
柏崎ふるさと応援基金への 寄附件数	8,504件	20,000件	関係人口の増加

<主要施策>

Ⅲ-2-(1) シティセールスの推進

柏崎ファンクラブやふるさと納税など、まちの魅力の発信や柏崎を応援する取組を強化し、シティセールスを推進します。

また、水球や海の大花火大会など、本市の認知度向上と魅力の形成につながる取組を強化します。

<主な事業>

- ・ シティセールス推進事業
- ・ ふるさと応援事業
- ・ 水球のまち柏崎推進事業
- ・ 柏崎産米ブランド化推進事業
- ・ 誘客促進事業
- ・ 海の柏崎活性化事業



日本水球選手権

Ⅲ-2-(2) 地域コミュニティの維持・活性化

住みよい地域社会の実現や中山間地域における集落を維持するため、地域コミュニティなどにおける様々な課題に対して、若い世代を始めとするあらゆる世代の地域住民が連携し、自発的に取り組むことができるよう支援します。

また、地域おこし協力隊などの外部人材を活用した地域の主体的な取組を支援するとともに、世代間交流の推進を図ります。

<主な事業>

- ・ 地域コミュニティ活動推進事業
- ・ 地域おこし協力隊活用事業
- ・ 地域おこし協力隊活動経費



地域おこし協力隊の活動

第4節 地域の活力を担う人材をつくる

小中学校を中心に、柏崎の魅力に触れ、愛着を育てる教育を進めるとともに、高等学校と連携を図り、将来、地域を支えることのできる人材育成を目指します。また、あらゆる世代において、地域活動や地域産業を支える人材や、将来の柏崎を担う人材の育成に取り組めます。

IV-1 愛着や誇りを育む人材をつくる

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
柏崎の自然や伝統文化に関するアンケートにおいて、体験したことがあると回答した児童・生徒の割合(※1)	67% (R1年度)	75%	地域資源の認識による愛着の醸成
ライクワークスクール(※2)を受講し活動を開始した人数(累計)	6人 (R1年度)	31人	多様な人材の育成による地域課題の解決

※1 小学校4年生から中学校3年生までの全児童及び生徒を対象に、海水浴や登山などの体験や文化施設の利用など5項目の質問によるアンケートを実施。現状及び目標は、各項目の実績及び目標の平均値

※2 自分らしい生き方を探求することと地域の課題を解決することを結びつける全6回の講座

<主要施策>

IV-1-(1) 愛着や誇りを持てる教育の推進

若者の地元定着を促進するために、学校における教育活動を通じて、ふるさと柏崎への愛着や誇りの醸成につながる教育を推進します。

また、地域と連携した生涯学習事業などを通じて、子どもから大人まで各世代が自分の住むまちに対し、愛着を深め、誇りを持てる人材を育成します。



綾子舞伝承学習発表会



ジュニアリーダー養成研修事業

<主な事業>

- ・学校教育活動推進事業
- ・かしわざきこども大学事業
- ・WEBミュージアム推進事業
- ・市民大学運営事業
- ・ジュニアリーダー養成研修事業

IV-1-(2) 地域人材の育成

市民活動センターまちからを拠点として、これからの地域活動を担う人材や市民活動団体の育成を積極的に進めます。

<主な事業>

- ・市民活動センター運営事業
- ・市民活動支援事業
- ・中越沖メモリアル運営事業

第4節 地域の活力を担う人材をつくる

小中学校を中心に、柏崎の魅力に触れ、愛着を育てる教育を進めるとともに、高等学校と連携を図り、将来、地域を支えることのできる人材育成を目指します。また、あらゆる世代において、地域活動や地域産業を支える人材や、将来の柏崎を担う人材の育成に取り組めます。

IV-1 愛着や誇りを育む人材をつくる

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
柏崎の自然や伝統文化に関するアンケートにおいて、体験したことがあると回答した児童・生徒の割合(※1)	67.0% (R1年度)	75.0%	地域資源の認識による愛着の醸成
ライクワークスクール(※2)を受講し活動を開始した人数(累計)	6人 (R1年度)	36人	多様な人材の育成による地域課題の解決
子供向けWEBミュージアム)アクセス件数(年間)	46,647件	80,000件	柏崎の自然や歴史・文化に関する学習機会の増加

※1 小学校4年生から中学校3年生までの全児童及び生徒を対象に、海水浴や登山などの体験や文化施設の利用など5項目の質問によるアンケートを実施。現状及び目標は、各項目の実績及び目標の平均値

※2 自分のやりたいことで地域の問題解決を図る人材を育成、発掘するため、アイデアを形にし、地域の課題解決に向けたアクションプランを作り上げる全6回の講座

<主要施策>

IV-1-(1) 愛着や誇りを持てる教育の推進

若者の地元定着を促進するために、学校における教育活動を通じて、ふるさと柏崎への愛着や誇りの醸成につながる教育を推進します。

また、地域と連携した生涯学習事業などを通じて、子どもから大人まで各世代が自分の住むまちに対し、愛着を深め、誇りを持てる人材を育成します。

<主な事業>

- ・学校教育活動推進事業
- ・かしわざきこども大学事業
- ・WEBミュージアム推進事業
- ・市民大学運営事業
- ・ジュニアリーダー養成研修事業



綾子舞伝承学習発表会

IV-1-(2) 地域人材の育成

市民活動センターまちからを拠点として、これからの地域活動を担う人材や市民活動団体の育成を積極的に進めます。

<主な事業>

- ・市民活動センター運営事業
- ・市民活動支援事業
- ・中越沖メモリアル運営事業

IV-2 地域産業を担う人材をつくる

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R6年度)	見込まれる成果
ものづくりマイスターカレッジ受講者の技能検定合格者数(累計)	131人	200人	技能士養成による技術の承継
市内二大学の入学者数	318人	340人	若者の地元定着地域活力の増大

<主要施策>

IV-2-(1) 地域産業を支える人材育成

ものづくりを担う若手の人材育成と技術の高度化のため、ものづくりマイスターカレッジを継続するとともに、生産性の向上や高付加価値化に取り組む企業の人材育成を支援します。

また、商業・サービス業等の従業員のスキルアップに資する取組や、新規就農者の雇用創出と農業法人等の人材育成を支援します。

<主な事業>

- ・人材育成支援事業
- ・I o T推進事業
- ・情報産業育成振興事業
- ・工業振興事業
- ・商業活性化推進事業
- ・新規就農者支援事業

IV-2-(2) 学生の確保・若者リーダーの育成

市内の二大学との連携を強化し、将来的に柏崎への定着につながるよう、市内二大学の学生確保を支援します。

また、自分のまちの将来を切り開いていけるよう、柏崎リーダー塾事業、柏崎・社長のたまご塾事業など、未来の柏崎に必要な人材の確保・育成を積極的に推進します。

<主な事業>

- ・大学との連携・協働事業
- ・柏崎リーダー塾事業
- ・柏崎・社長のたまご塾事業



柏崎・社長のたまご塾事業



柏崎リーダー塾事業

IV-2 地域産業を担う人材をつくる

■重要業績評価指標 (KPI)

項目	現状(H30年度)	目標(R7年度)	見込まれる成果
ものづくりマイスターカレッジ受講者の技能検定合格者数(累計)	131人	200人	技能士養成による技術の承継
二大学の入学者数(通信課程を除く)	318人	340人	若者の地元定着地域活力の増大

<主要施策>

IV-2-(1) 地域産業を支える人材育成

ものづくりを担う若手の人材育成と技術の高度化のため、ものづくりマイスターカレッジを継続するとともに、生産性の向上や高付加価値化に取り組む企業の人材育成を支援します。

また、商業・サービス業等の従業員のスキルアップに資する取組や、農業法人等の人材育成を支援します。

<主な事業>

- 人材育成支援事業
- I o T推進事業
- 情報産業育成振興事業
- 工業振興事業
- 商業活性化推進事業
- 新規就農者支援事業

IV-2-(2) 学生の確保・若者リーダーの育成

市内二大学の学生確保を支援し、将来的に柏崎を担う人材となるよう、連携を強化します。

また、自分のまちの将来を切り開いていけるよう、柏崎リーダー塾事業、柏崎・社長のたまご塾事業など、未来の柏崎に必要な人材の確保・育成を積極的に推進します。

<主な事業>

- 大学との連携・協働事業
- 柏崎リーダー塾事業
- 柏崎・社長のたまご塾事業



柏崎・社長のたまご塾事業



柏崎リーダー塾事業